

## 肝動脈塞栓術の治療を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前

主治医

受持ち看護師

日付	入院前日までに	入院当日(手術前日)	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	退院後	
		月 日 ( )	術前 月 日 ( )	術後 月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	退院日 月 日 ( )		
目標 退院基準	治療の内容について理解できる	治療について理解できる。 不明な点を医師や看護師に質問できる	治療について理解できる 不明な点を医師や看護師に質問できる	治療後の安静を守ることが出来る 痛みや吐き気などの症状を医師や看護師に伝えることが出来る	発熱、痛みや吐き気などの症状を医師や看護師に伝えることが出来る	発熱、痛みや吐き気などの症状を医師や看護師に伝えることが出来る	発熱、痛みや吐き気などの症状を医師や看護師に伝えることが出来る	治療に伴う苦痛症状について医師や看護師に伝えることが出来る 退院後の注意点を理解できる	退院後の注意点を理解できる	定期受診をする 発熱・腹痛時に病院へ連絡し相談できる	
検査		レントゲン・採血があります			採血があります		採血があります		採血があります		
処置		体重を図ります 両足の甲の動脈に血液の流れを確認するため、印をつけます	体重を図ります(毎日 朝) 6時に検温があります	針を刺した所の出血がないか、腹部の痛みがないか確認します。 体温・血圧測定を行ないます(適宜)	6時、14時に 検温があります	→ 針を刺した所のガーゼを外します					
注射		(点滴をします)	点滴をします。 抗生剤の点滴があります	点滴をします 抗生剤の点滴があります	本日分の点滴終了後、 針を抜きます						
内服薬	医師の指示に従って下さい	薬剤師が、常用薬の確認を行います。 通常通りに内服可能ですが、血糖降下薬、抗凝固薬は別途中止の指示がある場合がございます。	看護師がお渡しした薬を6時に内服します。その後は中止です	指示されたもの以外中止です	食事が開始されたら内服も再開となります。医師の指示が出ますので、指示に従って飲み下さい <b>中止薬 ( ) は / から再開します</b>					主治医の指示にしたがって下さい	
食事 水分	バランスの良い食事を心がけて下さい	病院食が出ます 21時以降は、食事は食べないでください。 水分は水・お茶のみにして下さい	水分は6時以降飲みません。 1日中食事は食べられません	帰宅2時間後から 水を飲むことができます	朝食から食べられます	制限はありません				治療に伴う制限はありませんが、バランスの良い食事を心がけて下さい	
活動	安静度	制限はありません	制限はありません	なるべく病室で過ごしてください	原則、ベッド上安静です。 針を刺した所から出血する可能性があります。刺した方の足は真っ直ぐにした状態で、動かさない。許可があるまで、起き上がらないでください。 3～5時間後以降、医師からの許可があれば歩行可能です。最初にトイレに歩く時は、看護師が付き添いますので、必ずナースコールをしてください。 翌朝までは室内のみに止めてください。	一人でふらつき無く歩ければ、 病棟内は自由に歩けます	制限はありません				制限はありませんが激しい運動は次の外来までは避けて下さい
	排泄	制限はありません	制限はありません	午前中に尿の管を入れます	尿の管が入っています。 (医師の許可があれば管を抜きます) ベッド上安静の期間は、排便の際は差し込み便器を使用してベッド上で行ないます	尿の管を抜きます	制限はありません				
	清潔	制限はありません	シャワー浴が出来ます		身体を拭いて着替えます (看護師がお手伝いします)	シャワー浴が出来ます				退院後一週間はシャワー浴として下さい	
教育 説明 その他		入院後に看護師から、治療や処置などの流れについて説明があります。 <b>【必要物品】</b> テープ式オムツ 1枚 ストローまたは吸い飲み 病衣のレンタル(有料)をお願いしています  <b>【肝動脈化学塞栓術】</b> 肝細胞癌を栄養する動脈血流を遮断し、癌組織を壊死させる治療法です。 右鼠径部から管を入れて行ないます。	浴衣に着替えてください 下着は着けないでください  順番になりましたらお声をかけます。 <b>入れ歯・眼鏡・時計等金属類を外し、</b> ストレッチャーで治療室へ行きます。  <b>貴重品は金庫で保管</b> してください。	発熱や痛み、吐き気などがあれば <b>我慢せずに</b> ナースコールしてください  <b>&lt;ご家族の皆様&gt;</b> 患者様の処置が終わって病室に戻るまで、ラウンジでお待ち下さい。 処置中に席を外す際は、ナースステーションまで声をおかけ下さい	退院日までに看護師から退院後の生活上の注意点を説明します	①食事、入浴に制限はありません。バランスの良い食事を心がけて下さい。 アルコール摂取は禁止です。 ②創部に負担のかかる行動、運動や、身体をねじるような動作は控えて下さい ③食事、飲水、運動で排便コントロールをつけましょう ④合併症として発熱、腹痛、出血、肝機能低下、胆嚢炎、肝膿瘍、 針を刺した側の足に血栓が出来る可能性があります。 以下の症状が続くようであれば、病院に連絡してください。 ・自宅で38度以上の高熱が数日続く ・腹痛が続く ・皮膚や眼球の黄疸が出てきた ・意識が朦朧として普段と違う事を言ったりしたりする ・針を刺した部位が腫れてきた ・針を刺した側の足が腫れてきた又は冷たい				千葉大学病院連絡先： 043-222-7171 (診察券を用意し、「肝胆膵外科外来または消化器内科外来」に繋いでもらってください)	

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。

千葉大学医学部附属病院

にし棟7階肝胆膵外科 ひがし棟8階消化器内科

XXXX年XX月作成